

CO₂局所施用で目指そう イチゴの収量UP！

農林水産研究所

CO₂を株の頭上に設置したダクトから局所的に施用することでイチゴの収量の増加を目指しています。

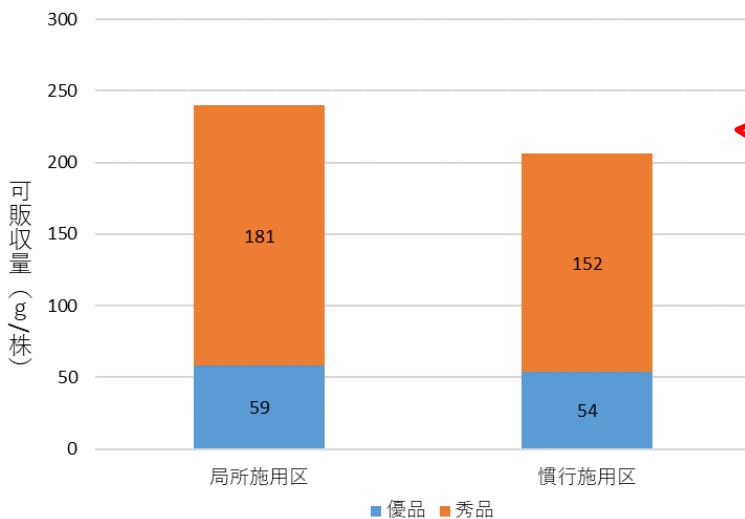
施用方法

CO₂局所施用：2時間ごとに15分間施用

(7：00~16：00)

慣行施用：早朝 1,000ppm(7：00~8：00)

日中 400ppm(8：00~17：00)



全期収量 **34g/株増加**
秀品収量 **29g/株増加**

株の頭上からCO₂を局所的に施用することで側窓の開閉に関わらず、濃度の高いCO₂を施用することができる。

